

議員提出議案第37号

ロシア大統領の北方領土問題に対し毅然とした外交姿勢を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成22年12月15日

提出者

1 番	むらまつ 勝康	2 番	平田 みつよし
3 番	く げ しげる	4 番	中 村 けいこ
5 番	秋 本 とよえ	6 番	筒 井 孝 尚
7 番	小 山 たつや	8 番	向 江 すみえ
9 番	上 村 やす子	1 3 番	出口 よしゆき
1 4 番	黒柳 じょうじ	1 5 番	上 原 ゆみえ
1 6 番	安 西 俊 一	1 7 番	秋 家 聡 明
1 8 番	うてな 英 明	1 9 番	佐藤 ゆうだい
2 0 番	うめだ 信 利	2 1 番	大 高 た く
2 2 番	清 水 忠	2 3 番	工 藤 きくじ
2 4 番	池田 ひさよし	2 5 番	米 山 真 吾
2 6 番	梅 沢 五十六	2 7 番	小 用 進
2 8 番	ふ せ 秀 明	2 9 番	丸 山 銀 一
3 0 番	斉 藤 初 夫	3 3 番	荒 井 彰 一
3 4 番	牛 山 正	3 5 番	く ぼ 洋 子
3 6 番	倉 沢 よう次	3 7 番	舟 坂 ちかお
4 0 番	新 村 秀 男		

葛飾区議会議長 舟 坂 ちかお 殿

ロシア大統領の北方領土問題に対し毅然とした外交姿勢を求める意見書

ロシアのメドベージェフ大統領が11月1日、わが国固有の領土である北方四島の一つ、国後島を訪問した。

北方領土は歴史的にも国際法上もわが国固有の領土であることは明白であり、ロシアも平成5年の「東京宣言」において「北方四島の帰属に関する問題については、歴史的・法

的事実に立脚し、両国間での合意の上、作成された諸文書及び法と正義の原則を基礎として解決する」との指針を確認している。

旧ソ連時代を含め、ロシアの国家元首が北方領土を訪問したのは初めてであり、大統領の訪問はこうした日露両国間の合意を無視し、ロシアによる四島の不法占拠を既成事実化しようとするものである。

また、訪問の背景には、普天間飛行場移設問題や、中国人船長釈放事件などの問題があることは明白であり、更なる外交上の問題はわが国及びアジア太平洋地域の安全保障、経済発展に重大なる影響を与える。

よって、本区議会は政府に対し、今般のメドベージェフ大統領の北方領土訪問に厳重に抗議するとともに、毅然たる外交姿勢でロシアに対して臨むよう強く求めるとともに、北方領土問題を早期解決に導くためにも、早急に外交戦略の立て直しを図るよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。